

## フランスの風景 樹をめぐる物語 コローからモネ、ピサロ、マチスまで

会 期 2016(平成28)年8月30日(火)～10月16日(日)  
 主 催 岐阜県美術館、岐阜新聞・ぎふチャン、日本経済新聞社、樹をめぐる物語展実行委員会  
 後 援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本  
 協 力 エールフランス航空/KLMオランダ航空、日本航空  
 企画協力 アートインプレッション  
 協 賛 十六銀行  
 助 成 公益財団法人田口福寿会  
 出 品 点 数 113点、特別出品6点

L'ARBRE DANS LA PEINTURE DE PAYSAGE EN FRANCE ENTRE 1850 ET 1920  
 フランスの風景 樹をめぐる物語  
 コローからモネ、ピサロ、マチスまで

2016年8月30日(火)～10月16日(日)

開館時間 10:00-18:00 8/30(火)は10:30開館  
 9/10(日)は10:00-20:00(入館は開館30分前まで)  
 休 日 10/16(日)は臨時休館(土曜日は要予約)  
 観 覧 料 一般 511(1,000円/3,000円) 前夜 500円  
 大学生 511 800円/700円 前夜 500円  
 高校生以下無料 (16歳以上20歳以上の団体割引あり)

協賛: 岐阜県美術館、岐阜新聞・ぎふチャン、日本経済新聞社、樹をめぐる物語展実行委員会  
 後援: NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本  
 協力: エールフランス航空/KLMオランダ航空、日本航空、企画協力:アートインプレッション 協賛: 十六銀行  
 主催: 公益財団法人田口福寿会が企画を立ち上げます

岐阜県美術館 THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

ナニヤローキ 14G 14G AIRFRANCE KLM



いつの時代も伴侶のように人に寄り添い、聖なるもの、永遠の象徴として季節の移ろいや時の流れを伝える樹木。  
 本展では「樹木」というモチーフを通して、コローからピサロ、ルドン、マチスまで、フランス近代絵画の変遷を辿った。自然の中で人の営みを写實的に捉えようとしたバルビゾン派、光の効果を求め戸外へ出かけていった印象派。樹木の色や形に抽象画の主題を見出した20世紀美術。画家たちが見つけ描いた自然を、フランスを中心とする国内外の美術館や個人が所蔵する119点により展観した。

## フランスの風景 樹をめぐる物語 出品リスト

No.	作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
第1章 戸外制作の画家たち						
1	アルフォンス・ニコラ・ミシェル・マンドヴァール	1770年、パリー1829年、パリ	樹木の習作	1800年頃	黒色顔料、紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
2	アダム・テブフェール	1766年、ジュネーヴ[スイス]ー1847年、モリヨン	ジュネーヴ近郊の風景	1792年	セピア、紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
3	ポール・ユエ	1803年、パリー1869年、パリ	グロ＝フトーの空き地、フォンテーヌブローの森	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
4	ジョルジュ・サンド	1804年、パリー1876年、ノアン＝ヴィック	池のある風景、樹木と山	不詳	水彩、紙	個人蔵
5	ジャック・ジョゼフ・マカール	1803年、ランスー1873年、リモージュ	ヴェルジーの森のねじれたブナの木	不詳	黒色顔料、水彩、墨、ハイライト、紙	個人蔵
6	ルイ＝ジョルジュ・プリリアン	1817年、サン＝ジャン＝ダンジェリー1893年、メル	フォンテーヌブローの森にて	不詳	木炭、色鉛筆、白のハイライト、灰色の紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
7	アルフレッド・ド・クルゾン	1820年、ムリネー1895年、パリ	カステル＝フサノの森	1850-1869年	木炭、紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
8	カミーユ・コロー	1796年、パリー1875年、ヴィル＝ダヴレー	エトルタ近くの風景	1872年	油彩、キャンヴァス	フォン・デア・ハイト美術館、ヴッパータール
9	ジュール・デュブレ	1811年、ナントー1889年、リラダン	古い堰、沼のほとり	1870年頃	油彩、板	個人蔵
10	テオドール・ルソー	1812年、パリー1867年、バルビゾン	バルビゾン、夕暮れの牧草地	1840年頃	油彩、板	個人蔵
11			夏の風景	不詳	油彩、キャンヴァス	フォン・デア・ハイト美術館、ヴッパータール
12			堰の木のある風景	不詳	油彩、キャンヴァス	山梨県立美術館
13	ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807年、ポルドーー1876年、マントン	森林の道	不詳	油彩、板	フォン・デア・ハイト美術館、ヴッパータール
14	ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807年、ポルドーー1876年、マントン	フォンテーヌブローの堰の木「怒れる者」	1862年	油彩、キャンヴァス	山梨県立美術館
15	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1817年、パリー1878年、パリ	道端の木立	1868年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
16			ヴァルモンドワの下草	1872年	油彩、キャンヴァス	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
17			羊飼いと女羊飼	1874年	エッチング、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
18	レオニード・ブルジュ	1838年、パリー1909年、オーヴェール＝シュル＝オワーズ	版画集『ドービニー、思い出とスケッチ』(L.H.May(パリ)、1900年刊行)	1894年	エッチング、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
19	フランソワ＝ルイ・フランセ	1814年、ブロンビエール＝レ＝パンー1897年、パリ	池	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
20			雪のヴィラ・ボルゲーゼの庭	1887年	水彩、紙	個人蔵
21			下草	不詳	インク、紙	個人蔵
22	アドルフ・フェリックス・カルス	1810年、パリー1880年、オンフルール	オンフルールの果樹園	1878年	油彩、キャンヴァスで裏打ちした紙	個人蔵
23	ルイ＝ニコラ・カバ	1812年、パリー1893年、パリ	ネミ湖の一隅	1893年	ペン、鉛筆、白のハイライト、紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
24	シャルル＝エミール・ジャック	1813年、パリー1894年、パリ	二本の樹	不詳	鉛筆、紙	個人蔵
25	アンリ・アルビニー	1819年、ヴァランシエンヌー1916年、サン＝ブリヴェ	森のはずれ	1915年	木炭、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
26	アレクサンドル・ルネ・ヴェロン	1826年、モンパゾンー1897年、パリ	ロワン川のヌムール橋	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
27	エミール・ヴァン・マルク・ド・リュメン	1827年、セーヴルー1890年、パリ?	「白い女王」 フォンテーヌブローの森	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
28	テオフィル・ナルシス・ショヴェル	1831年、パリー1910年、パリ	ヌイイ公園の大きな島	1852年	黒色顔料、白チョークのハイライト、紙	タヴェ＝ドラクール美術館、ポントワーズ
29	エドモン・イオン	1836年、パリー1897年、パリ	古木「フォンテーヌブロー、アゴナル」	不詳	鉛筆、紙	個人蔵
30	レオン・リシェ	1847年、ソレムー1907年、フォンテーヌブロー	妖精の沼	1880-1890年	パステル、キャンヴァスで裏打ちした紙	個人蔵
31	ギュスターヴ・ドレ	1832年、ストラスブールー1883年、パリ	嵐の後、スコットランドの急流	1875-1878年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
32	ジュール・バステリアン＝ルバージュ	1848年、ダンヴィエー1884年、パリ	ダンヴィエの村	1883年	油彩、キャンヴァス	フォン・デア・ハイト美術館、ヴッパータール
33	フレデリック・モンナール	1849年、パリー1926年、ベス＝シュル＝イソル	剪定	1879年	油彩、キャンヴァス	個人蔵

No.	作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
34	アレクサンドル・ノザル	1852年、ヌイイ＝シュル＝セヌー1929年、パリ	古い堰、雪の中	不詳	バステル、グアッシュ、紙	個人蔵
35	エミール・イーゼンバール	1846年、ブザンソンー1921年、ブザンソン	アルシエの泉	1905年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
<b>第2章 印象派の画家たちと同時代の風景画</b>						
36	クロード・モネ	1840年、パリー1926年、ジヴェルニー	ヴェトゥイユの河岸からの眺め、ラヴァクール(夕暮れの効果)	1880年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
37	ギュスターヴ・カイユボット	1848年、パリー1894年、ジュヌヴィリエ	セヌ河岸、プティ・ジュヌヴィリエ	1870年頃	油彩、キャンヴァス	アルジャントウイユ美術館(カミーユ・ピサロ美術館寄託)
特別出品	カミーユ・ピサロ	1830年、セント・トーマス[デンマーク領アンティル諸島]ー1903年、パリ	牛の番をする農婦、モンフコー	1875年	油彩、キャンヴァス	岐阜県美術館
38			マトウランの丘にて、ポントワーズ	1874年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
39			モンフコーの沼	1874年頃	鉛筆、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
40			樹のカーテン(色に関する書き込みのあるスケッチ)	1877年頃	黒鉛筆、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
41			横長の風景、ポントワーズのエルミタージュ	1879年	アクアチント、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
42			樹木と耕された地面	1879年	エッチング、アクアチント、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
43			オニーの風景	1887年	ドライポイント、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
44	リュシアン・ピサロ	1863年、パリー1944年、ヘウウッド[イギリス]	松林	1892年	油彩、キャンヴァス	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
45			りんごの収穫	1895年頃	多色刷り木版、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
46	フェリックス・ピサロ(別名:ジャン・ロック)	1874年、ポントワーズー1897年、ロンドン	散歩、公園の母と娘	1896-1897年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
47	リュドヴィク・ビエット	1826年、ニオールー1878年、モンフコー	フォッセの祭り、ポントワーズ	1877年	油彩、キャンヴァス	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
48			収穫	1873年	グアッシュ、紙	カミーユ・ピサロ旧蔵 カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
49	エドゥアル・ベリアール	1832年、パリー1912年、エタンブ	フォッセの通り	1872-1874年	油彩、キャンヴァス	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
50	フレデリック・コルデ	1854年、パリー1911年、パリ	柴の束	1895年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
51	ルイス・ヒメネス・イ・アラнда	1845年、セヴィリア[スペイン]ー1928年、ポントワーズ	公園の一隅、ポントワーズ	1892年	油彩、キャンヴァス	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
52	ヴィクトール・ヴィニヨン	1847年、ヴィレ＝コトレー1909年、ムラン	村の入口、ネル＝ラ＝ヴァレ	1888年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
53	ポール・セザンヌ	1839年、エクス＝アン＝プロヴァンスー1906年、エクス＝アン＝プロヴァンス	農場の入口、オーヴェール＝シュル＝オワーズ	1873-1874年	エッチング、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
54	ポール・ガシェ	1828年、リールー1909年、オーヴェール＝シュル＝オワーズ	オーヴェール＝シュル＝オワーズの洪水	1873年頃	エッチング、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
55	ノルベール・グヌート	1854年、パリー1894年、オーヴェール＝シュル＝オワーズ	シャボンヴァルから見たオーヴェールの眺め	1893年頃	エッチング、ドライポイント、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
56	アルマン・ギョーマン	1841年、パリー1927年、オルリー	ミルゴドンの果樹園、夕方4時	1892年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
57			人気(ひとけ)のない道、オート＝ブリュイエール	1873年	エッチング、紙	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
58	ポール・シニャック	1863年、パリー1935年、パリ	《リース広場》のための習作	1893年頃	油彩、板	個人蔵
59			エルプレーのセヌ河	1888-1889年頃	テンペラ、絹(扇子)	カミーユ・ピサロ美術館、ポントワーズ
60	シャルル・アングラン	1854年、クリクト＝シュル＝ウヴィールー1926年、ルーアン	ルクロ、ノルマンディー	1907-1908年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
61	シャルル・フレション	1856年、ブランジー＝シュル＝ブレルー1929年、モン＝サンテニャン	コショワーズ広場、ルーアン	1891年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
62			森の秋、ケヴルヴィル＝ラ＝ミロン	1903-1905年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
63			夏、ケヴルヴィル＝ラ＝ミロン	1905-1908年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
64	マクシミリアン・リュース	1858年、パリー1941年、パリ	日没の風景	1888年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
65			サン＝トロベ	1893年	油彩、厚紙	個人蔵
66			風景、オーヴェール＝シュル＝オワーズ	1925年	コンテ、クレヨン、紙	個人蔵

No.	作家名	生年・没年	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
67	レオ・ゴーンソン	1860年、ラニー＝シュル＝マルヌー 1944年、ラニー＝シュル＝マルヌ	下草、 ラニー＝シュル＝マルヌ近郊	1885-1890年	パステル、色鉛筆、紙	個人蔵
68			三本の樹のある風景	1886年	油彩、板	個人蔵
69			森の中の道(樹木の習作)	1887年頃	油彩、板(寄木)	個人蔵
70			樹木の習作	1887年頃	油彩、厚紙で裏打ちした キャンヴァス	個人蔵
71			ラニー＝シュル＝マルヌ近郊	1888-1889年	油彩、板で裏打ちした紙	個人蔵
72			樹木の向こうの村	1890年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
73	アシル・ロージェ	1861年、アルガンー1944年、 カイオー	花咲く樹、春の庭	1897年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
74	ルイ・アイエ	1864年、ポントワーズー1940年、 コルメイユ＝ザン＝パリジ	街路、夜景	1889年頃	油彩、厚紙	個人蔵
75			下草、夕暮れ	1889-1892年頃	油彩、厚紙	個人蔵
76	ジョルジュ・タルディフ	1864年、パリー1933年、パリ	モンマルトルのマキ	1900年頃	グアッシュ、紙	個人蔵
77			モンマルトルのマキ	1900年頃	グアッシュ、紙	個人蔵
78	シャルル＝アンリ・ベルソン	1876年、アミアンー1926年、パリ	サン＝トロベ、カマラの泉	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
79			ラ・モールの引き馬	不詳	油彩、板で裏打ちした キャンヴァス	個人蔵
80	リュドヴィク＝ロド・ピサロ	1878年、パリー1952年、パリ	松(色に関する書き込みのある 山の風景)	1900-1910年	水彩、鉛筆による下書き、 紙(手帳)	カミーユ・ピサロ美術館、 ポントワーズ
<b>第3章 ポスト印象主義と20世紀前衛芸術への試み</b>						
81	オディロン・ルドン	1840年、ボルドーー1916年、パリ	ベイルバードのポプラ	不詳	油彩、厚紙	岐阜県美術館
特別 出品			森の中の男	1865年	木炭、黒鉛、紙	岐阜県美術館
特別 出品			大きな樹	1865-70年頃	木炭、紙	岐阜県美術館
特別 出品			樹(樹のある風景の中の二人の人物)	1865-70年頃	木炭、紙	岐阜県美術館
特別 出品			曲がりくねった樹	不詳	木炭、紙	岐阜県美術館
82	ウジェーヌ・カリエール	1849年、グルネ＝シュル＝ マルヌー1906年、パリ	樹木の習作	不詳	素描(スケッチブック)	タヴェ＝ドラクール美術館、 ポントワーズ (シャルル・ウルモン寄贈)
83	リュシアン・レヴィ＝デュルメル	1865年、アルジェー1953年、 ル・ヴェジネ	《ル・コル・デュ・シャ峠と ブルジェ湖》のための樹木の習作	1924-1930年	コンテ(青)(スケッチブック)	カミーユ・ピサロ美術館、 ポントワーズ
84	エミリオ・ポッジオ	1857年、カラカス[ヴェネズエラ]ー 1920年、オーヴェール＝シュル＝ オワーズ	手すり	1909年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
85			開花	1915年	油彩、パネル	個人蔵
86	アンリ・マルタン	1860年、トゥールーズー1943年、 ラ・バスティード・デュ・ヴェール	ポプラのある草地	不詳	油彩、パネル	個人蔵
87	アンリ・リヴィエール	1864年、パリー1951年、パリ	ボルム＝レ＝ミモザの風景(松)	1925年	水彩、紙	カミーユ・ピサロ美術館、 ポントワーズ
88			ボルム＝レ＝ミモザの風景 (オリーブ)	1926年	水彩、紙	カミーユ・ピサロ美術館、 ポントワーズ
89			ボルム＝レ＝ミモザの風景	1921年	水彩、紙	カミーユ・ピサロ美術館、 ポントワーズ
90	ギュスターヴ・ロワゾー	1865年、パリー1935年、パリ	ウール川	1921年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
91	ヴィクトール・シャルトン	1864年、ブルゴワソー1936年、 クレルモン＝フェラン	リュクサンブール公園、パリ	1915年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
92	シャルル・ラコスト	1870年、フロワラックー1959年、 パリ	ベアンの風景、大木	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
93	ジャン＝フランソワ・ オービュルタン	1866年、パリー1930年、ディエップ	海辺の松、ポルクロー	不詳	油彩、キャンヴァス	オワーズ県美術館、ボーヴェ
94	フェルディナン・ロワイヤン・ ドゥ・ピュイゴドー	1864年、ナントー1930年、 ルクワジック	月下の彫像	不詳	油彩、キャンヴァス	個人蔵
95	エドガー・シャイヌ	1874年、ウィーン、オーストリアー 1947年、パリ	カンパレの眺め、夜の効果	1920年頃	パステル、紙	個人蔵
96	ポール・ランソン	1861年、リモージュー1909年、パリ	沼地の魔女	1897年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
97			水を飲む雌鹿	1897年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
98			苦しみの形相をした農のある樹木	1905年頃	パステル、明るい灰色の紙	個人蔵
99	ケル＝グザヴィエール＝セル	1867年、ロリ＝レ＝メヌー1944年、 レタン＝ラ＝ヴィル	青い服の女性、サン＝トロベ	1906年頃	パステル、裏打ちした紙	個人蔵
100	ポール・セリュジエ	1864年、パリー1927年、モルレ	森の中の焚火	1889-1890年頃	油彩、キャンヴァス	岐阜県美術館
101			急流のそばの幻影、 または妖精たちのランデヴー	1897年	油彩、キャンヴァス	岐阜県美術館

No.	作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
102	モーリス・ドニ	1870年、グランヴィルー1943年、パリ	小さなブルターニュの女性たち、沼のほとり	1892年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
103	フェリックス・ヴァロトン	1865年、ローザンヌー1925年、パリ	オンフルール眺め、朝	1912年	油彩、キャンヴァス	オワーズ県美術館、ボーヴェ
104	レオン・ジラン＝マクス	1867年、パリー1927年、パリ	アリスカン、アルル	1913年	グアッシュ、紙	個人蔵
105	ピエール・オデ	1889年、ルーアンー1942年、パリ	庭	1912-1913年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
特別 出品	モーリス・ユトリロ	1883年、パリー1955年、パリ	ドンレミのジャンヌ・ダルクの家	1935年	グアッシュ、紙	個人蔵
106	ロベール・アントワーヌ・パンション	1886年、ルーアンー1943年、ボワ＝ギョーム	道、雪の効果	1905年	油彩、板	個人蔵
107			曳船道	1909年頃	油彩、キャンヴァス	個人蔵
108			ブランヴィル＝クルヴォンの谷	1910年頃	油彩、板に裏打ち	個人蔵
109	ジョルジュ・ポール・ルルー	1877年、パリー1957年、ムードン	風景の習作	1905-1920年	黒色顔料、サンギーヌ (スケッチブック)	カミーユ・ピサロ美術館、 ボントワーズ
110	アンリ・マティス	1869年、ル・カトー＝カンブレジー 1954年、ニース	オリーブの並木路	1919年	油彩、キャンヴァス	パリ市立近代美術館
111	オトン・フリエス	1879年、ル・アーヴルー1949年、パリ	オンフルール近郊	1940年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
112	クリスチャン・ロールフス	1849年、グロース・ニンドルフ [ドイツ]ー1938年、ハーゲン[ドイツ]	春の樹	1917年	油彩、キャンヴァス	フォン・デア・ハイト美術館、 ヴッパータール
113	エミール・ノルデ (ハンス・エミール・ハンセン)	1867年、ノルデ[ドイツ]ー1956年、 ゼービュル[現ノイキルヒェン]	ブーヘンヴァルトの春 II	1915年	油彩、キャンヴァス	フォン・デア・ハイト美術館、 ヴッパータール

## 知られざるプライベートコレクション ジャパン・ビューティー —描かれた日本美人—

会 期 2016(平成28)年10月27日(木)～12月11日(日)

主 催 岐阜県美術館、岐阜新聞・ぎふチャン

後 援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

企画協力 アートシステム

出品点数 88点、岐阜県美術館所蔵作品7点



江戸時代に描かれた浮世絵の美人絵は明治以降、様々な価値観が変化の中で近代の「美人画」へと発展した。本展は、今も昔も永遠のテーマである女性美をとりあげ、浮世絵コレクターで知られる中右瑛氏の主導で形成された「朝比奈文庫」コレクションから、上村松園、鏑木清方、伊東深水、竹久夢二ら美人画の代表作家のみならず、幻の画家、知られざる画家たちまで幅広い作品を紹介し、明治・大正・昭和の美人画の変遷を辿った。

「雪月花」「四季の風情」「心の内と外～情念と装い」「技芸と遊び」の4章で構成し、岐阜県美術館所蔵の人物画を特別出品した。第3

章の「心の内と外」では、特に女性画家の制作に対する姿勢を紹介するコーナーを設けたほか、会期中、大阪新美術館建設準備室の小川知子氏を講師に招き、女性画家の人生について講演会を行った。

このほか、コレクターの中右瑛氏が作品についての思い入れを語った。また、「アンティークキモノでジャパン・ビューティーARTツアー」では、アンティーク着物を着て、プロのカメラマンに撮影してもらえるという内容により、若い女性が多く参加した。ツアーでは、作品に描かれた着物の模様を鑑賞するほか、女性画家の生き方についても紹介した。

知られざるプライベートコレクション ジャパン・ビューティー 一描かれた日本美人ー 出品リスト

No	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	材質・技法/形状・員数	展示期間
第1章:雪月花						
1	伊藤 小坡	(1877-1968)	雪の朝	昭和	絹本着色 一幅	
2			雪の朝	昭和	絹本着色 一幅	
3	木谷 千種	(1895-1947)	春雪	大正-昭和初期	絹本着色 一幅	前期
4	中村 大三郎	(1898-1947)	雪晴れ	大正-昭和	絹本着色 一幅	後期
5	田中 針水	(1902-1979)	雪庭	昭和6年	絹本着色 二曲一隻	
6	上村 松園	(1875-1949)	美人観月図	明治25年頃	絹本着色 一幅	
7	九條 武子	(1887-1928)	月下逍遙	大正	絹本着色 一幅	
8	池田 蕉園	(1886-1917)	ほたる	大正	絹本着色 一幅	
9	鏡木 清方	(1878-1972)	鴨東静夜	昭和	絹本着色 一幅	前期
10	山川 秀峰	(1898-1944)	月隴	昭和	絹本着色 一幅	後期
11	伊東 深水	(1898-1972)	垂枝梅	昭和	絹本着色 一幅	前期
12	井江 耕宗	(1890-1967)	梅花令嬢	昭和	絹本着色 一幅	後期
14	伊藤 小坡	(1877-1968)	乙女桜之図	大正	絹本着色 一幅	
15	池田 蕉園	(1886-1917)	少女観桜	大正	絹本着色 一幅	
16	紺谷 光俊	(1890-1945)	桜狩之図	昭和2年	絹本着色 一幅	
17	中村 大三郎	(1898-1947)	春雨	昭和	絹本着色 一幅	
18	木島 桜谷	(1877-1938)	長閑	明治-大正	絹本着色 一幅	
19	北野 恒富	(1880-1947)	花之頃	昭和	絹本着色 一幅	
20	高島 華宵	(1888-1966)	桜下舞妓	昭和	絹本着色 一幅	
21	山口 八九子	(1890-1933)	桜花を見る舞妓	大正初期	絹本着色 一面	
22	橋本 花乃	(1897-1983)	桜下美人図	大正	絹本着色 一幅	
第2章:四季の風情						
23	三木 翠山	(1887-1957)	うぐいす	明治	絹本着色 一幅	
24	高島 華宵	(1888-1966)	梅花娘	昭和	絹本着色 一幅	
25	池田 輝方	(1883-1921)	娘と若衆	大正	紙本着色 二曲一双	
26	池田 蕉園	(1886-1917)	奉納	不詳	絹本着色 一幅	後期
27	横尾 芳月	(1897-1990)	春雨	昭和	絹本着色 一幅	後期
28	岡本 大更	(1879-1945)	若葉	昭和14年頃	絹本着色 一幅	後期
29	上村 松園	(1875-1949)	夏の美人	大正2年頃	絹本着色 一幅	
30	伊東 深水	(1898-1972)	ほたる	昭和	絹本着色 一幅	
31	三木 翠山	(1887-1957)	蛍狩	昭和	絹本着色 一幅	前期
32	不動 立山	(1886-1975)	蛍の図	大正9年	絹本着色 一幅	
33	鏡木 清方	(1878-1972)	初夏の雨	昭和	絹本着色 一幅	後期
34	広田 百豊	(1876-1955)	柳	大正	絹本着色 一幅	前期
35	伊藤 小坡	(1877-1968)	涼風	昭和	絹本着色 一幅	後期
36	吉川 観方	(1894-1979)	七夕の宵	大正	絹本着色 二曲一隻	前期
37	橋 小夢	(1892-1970)	すずみ	大正末期-昭和	絹本着色 一幅	前期
38	池田 蕉園	(1886-1917)	まつむし	明治	絹本着色 一幅	
39	大林 千萬樹	(1887-1959)	鈴虫	大正	絹本着色 一幅	
40	伊藤 小坡	(1877-1968)	秋の夜長	昭和	絹本着色 一面	
41	梶原 緋佐子	(1896-1988)	秋の夜	昭和15年頃	絹本着色 一面	
42	島崎 柳塙	(1865-1937)	姉妹	明治	絹本着色 一幅	
43	小田 富彌	(1895-1990)	秋の夜	昭和	絹本着色 一幅	

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	材質・技法/形状・員数	展示期間
45	島 御風	(1885-1968)	時雨	大正	絹本着色 一幅	
特別 出品	上村 松園	(1875-1949)	虫の音	明治40年頃	絹本着色 一幅	
第3章:心の内と外~情念と装い						
46	栗原 玉葉	(1883-1922)	朝妻桜	大正7年	絹本着色 一幅	
47	松浦 舞雪	(1886-没年不詳)	桜美人	大正	紙本着色 二曲一隻	
48	島崎 柳鳩	(1865-1937)	馬琴の漢路	昭和11年	絹本着色 一幅	
49	岡本 更園	(1895-没年不詳)	西鶴のお夏	大正5年	絹本着色 一幅	
50	栗原 玉葉	(1883-1922)	お七 お染	大正	絹本着色 二曲一隻	
51	橘 小夢	(1892-1970)	お染	大正-昭和	絹本着色 一幅	後期
52	山川 秀峰	(1898-1944)	三上於菟吉作 炎の空の笙子	昭和2年頃	羽子板に着色	
53	岡 文瀟	(1876-1943)	憂い	明治	絹本着色 二曲一隻	
54	小田 富彌	(1895-1990)	秋宵	不詳	絹本着色 一幅	
55	栗原 玉葉	(1883-1922)	春のゆめ	大正	絹本着色 一幅	前期
56	竹久 夢二	(1884-1934)	宵待草	昭和	絹本着色 一面	
57	増原 宗一	(1893-1927)	いれずみ	大正	絹本着色 一幅	
58	畠山 錦成	(1897-1995)	湯上り	大正	紙本着色 一幅	
59	門井 掬水	(1886-1976)	髪を梳く	昭和	絹本着色 一幅	
60	池田 輝方	(1883-1921)	芸者	大正	絹本着色 一幅	
61	木谷 千種	(1895-1947)	化粧	昭和初期	絹本着色 二曲一隻	
62	島 成園	(1892-1970)	あんどん 化粧	大正	絹本着色 双幅	
63	鳥居 言人	(1900-1976)	紅化粧	大正	絹本着色 一幅	
64	甲斐庄 楠音	(1894-1978)	口紅之図	昭和初期	絹本着色 一幅	
65	橘 小夢	(1892-1970)	化粧	大正-昭和	絹本着色 一面	
66	寺島 紫明	(1892-1975)	夕粧	大正-昭和初期	絹本着色 一幅	後期
67	三木 翠山	(1887-1957)	紅化粧	昭和	絹本着色 一幅	後期
68	高島 華宵	(1888-1966)	合わせ鏡	昭和	絹本着色 一幅	前期
69	小早川 清	(1899-1948)	お齒黒	昭和	絹本着色 一幅	前期
第4章:技芸と遊び						
70	島 成園	(1892-1970)	舞妓	大正10年	絹本着色 一幅	前期
71	増原 宗一	(1893-1927)	京舞妓	大正	絹本着色 一幅	後期
72	北野 恒富	(1880-1947)	舞妓	昭和	絹本着色 一幅	前期
73	甲斐庄 楠音	(1894-1978)	汐汲み	昭和初期	絹本着色 一幅	後期
74			娘道成寺	昭和	絹本着色 一面	
75	山川 秀峰	(1898-1944)	稽古	昭和7年頃	絹本着色 二曲一双	後期
76	門井 掬水	(1886-1976)	楽屋	大正末頃	紙本着色 六曲一双	前期
77	山田 喜作	(1899-1963)	月琴女(月琴)	昭和15年頃	絹本着色 一面	
78	横尾 芳月	(1897-1990)	静境	昭和6年	紙本着色 二曲一隻	後期
79	堀井 香坡	(1897-1990)	聞香	大正後期	絹本着色 一幅	後期
80	小早川 清	(1899-1948)	おはじき	大正	紙本着色 二曲一隻	
81	中村 大三郎	(1898-1947)	雙六	大正12年	絹本着色 一幅	前期
82	大林 千萬樹	(1887-1959)	羽根つき	大正-昭和	絹本着色 一幅	後期
83	岡本 神草	(1894-1933)	追羽根(旧題:羽子緋衣)	昭和6年	絹本着色 一幅	
84	松村 梅叟	(1884-1934)	追羽子	大正-昭和初期	絹本着色 一幅	前期
85	竹久 夢二	(1884-1934)	湘南風光	昭和	絹本着色 一幅	
86	井江 耕宗	(1890-1967)	海水浴	大正-昭和初期	絹本着色 一面	
87	榎本 千花俊	(1898-1973)	スキー	昭和初期	絹本着色 二曲一隻	



No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	材質・技法/形状・員数	展示期間
岐阜県美術館所蔵作品						
1	長縄 士郎	(1923- )	八ツ橋(素描)	昭和56年	紙本着色 素描	
2			古都残映	昭和51年	紙本着色 素描	
3	川崎 小虎	(1886-1977)	うどんげの花を植える女	明治45年	紙本着色 一面	
4	田中 比左良	(1890-1974)	新舞踊六態	昭和35年頃	紙本着色 六曲一隻	
5	佐々木 尚文	(1890-1970)	雪女郎	昭和6年	絹本着色 一面	
6	伊東 深水	(1898-1972)	鏡	昭和22年	紙本着色 一面	
7	前田 青邨	(1885-1977)	ラ・ブランセス	昭和32年	紙本着色 一面	



11月6日 長良川おんばく2016プログラム ジャパン・ビューティーARTツアー



11月27日 コレクターズトーク「大正時代の異色画家たち」